

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	401	寺田市民館事業	会計	01	一般会計
基本施策	39	部落差別の解消に向け、同和行政を推し進める	款	03	民生費
担当部課名	人権政策部 寺田市民館		項	03	同和行政費
作成者氏名	鈴木 重儀	連絡先	目	02	隣保館費
		23-8728	細目	102	隣保館事業経費
			細々目	03	寺田市民館事業経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	地域住民・館職員	成果(どうなるのか)	地域住民の福祉の向上を図り、教養・文化を高め、併せて住民交流を通して人権教育・人権啓発を推進し人権尊重の精神を培い部落差別を解消する。			
	本年度事業内容	1 血圧測定、体脂肪測定等の健康相談と健康体操、手芸、栄養教室等を同時開催し、健康の保持・増進を図る。 2 市民館だよりを月1回発行し、市民館行事の周知と人権・同和問題の啓発。 3 文化祭や各種教室・講座を開催し、教養・文化や人権意識を高めるとともに、交流を通して確かな人権感覚を養う。 4 館活動の実践交流と情報交換を行い、職員のスキルアップを図る研修。					
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	三重県隣保館事業費補助金交付要領

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.9	0.9	0.9
	人件費合計(A)	6,480	6,480	6,480
②支出内訳(千円)	事業費(B)	1,713	1,995	1,995
	委託料			
	その他	1,713	1,995	1,995
	合計(A+B)	8,193	8,475	8,475
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金	788	890	890
	地方債			
	受益者負担	34	35	35
	一般財源	7,371	7,550	7,550
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
1 参加者数(1回あたり)	人	17	20	27			
2 発行部数(月)	部	200	200	200			
3 参加者数(延べ)	人	1,393	1,500	1,500			
4 参加回数	回	2	3	3			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
1 1回分の参加人数約17人/周辺地区(寺田、南寺田)の65歳以上の人口136人における参加者の割合	参加者を増やすことが、介護予防の指標	%	12.5 目標 ( 15 )	15	15
3 毎月開催の8教室(一般、児童)の平均参加者数は7人弱。年1回開催の3教室(一般、児童)の平均参加者数は32人。文化祭は250人の参加者数。	毎月開催の8教室について参加者増が、教養・文化の振興の指標	人 (各教室)	7 目標 ( 10 )	10	10

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

参加者の少数固定化、参加意識の欠如から積極的な交流が図られないという大きな課題があるため、交流を主目的とした事業(映画会)も展開している。健康体操教室は、少人数から年度途中で休止。茶道教室も参加者の高齢化と少人数から年度末から休止する。

評価	必要性	4	部落差別の解消は、地域住民の福祉の向上と教育・文化の振興、人権啓発を図りながら同時に地域住民の交流の中から確かな人権感覚を養う必要がある。 問題解決の課題を持つての参加意識と参加人数に乏しく真の交流には成り得ていないが、機会の提供に努めなければならない。	総合評価
	有効性	3		
	達成度	2		
	効率性	3		
				B